

7月の農作業

令和4年7月11日 J A福井県奥越基幹支店・奥越農林総合事務所

今月のポイント

- ☆ 水稻・雑穀の圃場管理
- ☆ 特産野菜の圃場管理
- ☆ キクの病害虫防除
- ☆ 鳥獣害対策情報

気象の推移

令和4年4月から令和4年6月の3ヶ月間では、降水量は平年より少なめ、平均気温・日照時間は平年よりも高く推移しました。

平均気温 (°C)	4月			5月			6月		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
平年	9.6	11.8	14.0	16.2	17.0	18.8	20.2	21.3	22.4
令和4年	10.8	14.3	15.7	15.0	17.2	19.9	19.0	21.8	

参考：4月から6月中旬までの積算値 平年 128.9 令和4年 133.7

降雨量 (mm)	4月			5月			6月		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
平年	45.4	48.3	48.9	45.1	58.8	41.0	24.1	53.2	91.0
令和4年	3.5	27.5	83.5	13.0	27.5	39.0	35.5	9.5	

参考：4月から6月中旬までの積算値 平年 364.8 令和4年 239.0

日照時間 (時間)	4月			5月			6月		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
平年	52.3	53.8	56.7	62.3	58.2	67.7	59.1	47.9	34.0
令和4年	82.0	68.7	41.4	81.9	34.9	90.2	66.9	49.0	

参考：4月から6月中旬までの積算値 平年 458.0 令和4年 515.0

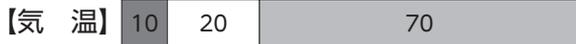
北陸地方1ヶ月予報

予想される向こう1ヶ月の天候

向こう1ヶ月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。平年に比べ曇りや雨の日が少ないでしょう。

向こう1ヶ月の平均気温は、高い確率70%です。降水量は、平年並または少ない確率ともに40%です。日照時間は、多い確率50%です。週別の気温は、1週目は高い確率80%です。2週目は高い確率50%です。3~4週目は平年並みまたは高い確率ともに40%です。

〈向こう1ヶ月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)〉

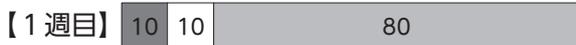


〈予報の対象期間〉

1ヶ月：6月25日(土)～7月24日(日)



〈気温経過の各階級の確率(%)〉



〈予報の対象期間〉

6月25日(土)～7月1日(金)



7月2日(土)～7月8日(金)



7月9日(土)～7月22日(金)

■ 低い(少ない) □ 平年並 ■ 高い(多い)

水 稲

○生育状況と管理の考え方

7月は、水稻の生育が本格化するため、管理が正念場となります。

6月下旬で莖数は確保されており、溝切り・中干しに続いて、間断通水を徹底することが、食味・品質の向上に直結します。高温・少雨対策と奥越産米のグレードアップのため、水管理に励みましょう（集落営農では、特に注意をお願いします）。水不足が懸念されるため、水田の漏水に注意し、かけ流しはしないようにお願いします。

併せて、斑点米カメムシを防止する畦畔の草刈、紋枯病の防除にも気を配りましょう。

肥効の確保等と水管理

- (1) 間断通水により、根の活力を維持しながら、稲体への水分供給と、肥効の引き出しを行います。肥効を生育後半まで持続させるため、過度に圃場を干すことは絶対に避けて下さい（特に、地力の低い砂地など）。
- (2) 栽培の目標は、「整粒歩合80%以上、食味値80以上」の両立です。過度の中干しで根を傷めると、収穫時に「秋落ち」となり、品質が著しく低下するとともに、2つの両立が困難になります。
- (3) 基肥一括施肥で、基準量が入っていない場合があるので、葉色の変化を観察し、明らかに葉色が低下する場合には、追肥を検討しましょう（営農指導員にご相談ください）。

穂 肥

穂肥の施用時期・施用量は、米の収量および食味に最も影響を及ぼす重要なポイントです。

一括施肥圃場では、原則的に穂肥は不要ですが、葉色が薄い、草丈が短い、地力がない等の圃場では2回目の穂肥時期に施用しましょう(施用量については各支店・営農指導員にご相談下さい)。

<施用時期>

○コシヒカリ

第1回目の施用時期は、7月中旬の見込ですが、各支店での作見会、営農特報を参考にしてください。

圃場毎に生育が異なりますので、必ず幼穂長10ミリを確認し施用してください。



斑点米カメムシ対策

- (1) 斑点米カメムシを増やさないよう、草刈りにより繁殖を抑えます。特に7月はイネ科雑草が実をつける時期ですので、重点的に刈り倒します。
- (2) 深い刈り込みを続けると、斑点米カメムシが好むイネ科雑草が優占する畦畔になりやすくなるため、広葉雑草がイネ科雑草を抑える環境を作るよう、3～5cm程度の高刈りをお試しください。
- (3) カメムシの生息地を無くすために、畦畔・農道の草刈りが必要です。7月9日前後を、管内一斉草刈週間『ナクソウ（7/9草）運動』として実施しておりますが、草刈りが行われていない圃場では草刈りの実施をお願い致します。ソバや大豆の畦畔も併せて草刈りをお願い致します。
- (4) 圃場内のヒエやホタルイもカメムシを誘引し、斑点米を増加させる要因となります。これらの雑草が多くなった場合、雑草に穂がつく前に後期除草剤により除草してください。
(収穫前日数に注意)

紋 枯 病 対 策

- (1) 奥越地区では、「紋枯病」が「いもち病」同様に替わる重要病害になっています。
- (2) 「紋枯病」は、前年度発生した圃場では菌が残るため、今年も必ず発生します。必ず防除を行いましょう。

体 系	防除時期	薬 剤 名	使用量 (10a当り)	使用回数
多発地帯用 粒剤	紋枯病初発時 (出穂10日前まで)	リンバー粒	3～4kg	2回まで
粉剤	紋枯病初発時	バリダシン粉DL	3～4kg	5回まで

そ の 他

倒伏軽減剤

過剰生育圃場では、倒伏軽減剤の使用を検討してください。なお、使用にあたっては、適期使用が重要になります。各支店の営農指導員にご相談ください。



○倒伏防止 毎年、倒伏するような圃場では倒伏軽減剤を施用しましょう。

薬 剤	ビビフル粉剤 3～4kg/10a	スマレフト粒 3kg/10a
時 期	出穂10～5日前（走り穂を見たら）	出穂20～7日前

雑 穀

○生育状況と管理の考え方【そば】

出芽の時期に、大変湿害に弱い作物です。良好な出芽と初期生育をさせるため圃場の排水対策を徹底します。今のうちから圃場を乾かす算段をしましょう。

県内産の玄そばの中に帰化アサガオの種子が混入しており、クレームを受けた農家があったようです。奥越地区でも帰化アサガオが方々で見受けられます。そばの圃場だけでなく、水稻・そばの畦畔においても注意してください。

排 水 対 策

- (1) 8月の播種に備え、早期の圃場の排水対策を開始しましょう。
- (2) 圃場に額縁排水溝を設置しましょう。(深さは25~30cm)
- (3) サブソイラや弾丸暗渠により、耕盤・心土を破砕し圃場の透水性を向上させましょう。
- (4) 大麦の収穫で埋まった排水溝を手直ししてください。

除 草 対 策

- (1) 大麦跡作地の雑草防除のため、ナクソウ運動時にモアをかけましょう。
(稲の斑点米カメムシ対策が目的)
- (2) 播種前にザクサまたはバスタを散布して下さい。
(発芽している帰化アサガオを枯らすことが目的です。
特裁の認定を受けている場合はできません。)



帰化アサガオの一種 マルバルコウ

播 種 作 業

- (1) 8月中の播種を行いましょう。
 - ・毎年湿害が発生する排水不良田では、生育量を確保するため、8月上旬から播種を始めましょう。(8月下旬に天候が崩れる前に)
- (2) 耕うん作業と播種作業は同一日に行いましょう。
 - ・耕うん後に降雨にあうと、播種時に土を練ってしまうため、発芽不良となります。
- (3) 出芽が揃う条播を基本とするが、散播の場合には、覆土代わりに播種後軽く(深さ5cmまで)ロータリをかけましょう。これをしないと、播種後乾燥が続いた場合、苗立ち不良となります。

そばの播種まで、圃場に水を溜めないようにしましょう！

ドローンでの空中散布する都度確認すべきポイント

農薬の空中散布に係る安全ガイドラインに従い、事前準備と現場確認を徹底しましょう。

- 飛行計画に気象、機体の状況および飛行経路について、安全に飛行できる状態であることを確認する。
- 他の無人航空機の飛行予定情報（飛行日時、飛行経路、飛行速度）をドローン情報基盤システム（飛行情報共有機能）（FISS）で確認するとともに同システムに飛行予定の情報を入力する。

ドローン情報基盤システム <https://www.fiss.mlit.go.jp/top>



飛散リスク



※飛散の程度は現場の状況に応じて様々です。

- 飛行場所にあわせて、周辺施設や民家等へ必要な注意喚起を行う。
- 散布方法は、機体メーカーが取扱説明書等に示した散布方法に従う。
- 5m/s以上の突風が発生するなど、安全に飛行させることができないときは、飛行を中止する。
- 散布中には気象条件の変化を随時確認しながら、散布区域外への飛散（ドリフト）が起こらないよう十分に注意する。

！もし事故が発生した時は！

事故が発生した際には速やかに負傷者の手当等を実施するとともに各関係者へ連絡してください。

空中散布の農薬の流出・ドリフト等による農薬事故

都道府県の農薬指導部局へ報告（連絡先一覧の①へ）

人の死傷、第三者物件損傷、飛行時における機体の紛失等の事故

地方航空局へ報告（連絡先一覧の②へ）



その他の連絡先

- 1) 負傷者発生：負傷者の救護、医療機関への診断、健康福祉センターやその他関係機関への連絡
- 2) 架線事故：電力会社やNTTへの連絡、関係機関への連絡（連絡先一覧の③へ）
- 3) 物損事故：所有者への連絡、関係機関への連絡

連絡先一覧

組織	部署	連絡先
①農薬の流出・ドリフト等の農薬事故 ↓福井県農林水産部	流通販売課 エコ農業・食料安全G	0776-20-0419（直通） 0776-20-0649（FAX） ryutsu@pref.fukui.lg.jp
②人の死傷、第三者物件損失等の事故 ↓関西空港事務所		072-455-1330（平日9:00～17:00） 072-455-1334、072-455-1335（上記以外の時間）
③電線・電柱との接触事故 北陸電力 関西電力 NTT西日本	福井支店福井電力部送電課 丹南支社電力部送電課 庄川送電センター（永平寺以北） 敦賀保線所（永平寺以南） 総括担当 故障受付担当	0120-65-9054 0120-85-9054 0763-82-5123 0770-22-4749 0776-52-3031（平日） 113（夜間・休日）

ドローンで散布する農薬の液剤は濃度が高いので、近隣に野菜や花がある場合は特に注意しましょう。

サトイモ

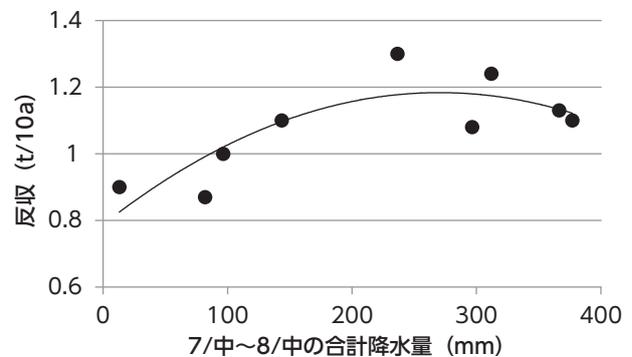
水 管 理

- ・サトイモは水を必要とする作物ですが、畝間灌水後に水が圃場に滞水すると根痛みの原因となります。また、収穫時期に圃場が乾いている状態にするためにも、排水溝をつくるなどの排水対策を徹底しましょう。
- ・晴天続きの日は、3~4日おきに夕方の地温が下がった時間に畝間灌水を行い、翌朝には排水して長時間の滞水はやめましょう。水温が上がり過ぎて根を傷める原因となります。

7~8月はしっかりと畝間灌水を行いましょう

特に、7月中の乾燥は収量に大きな影響を与えます。7月中の降雨が少なかった平成22年と平成30年は平均収量が1トン/反を切ってしまいました。

異常気象の影響を受けないよう、降雨の少ない場合にはこまめな畝間灌水でカバーし、収量を高く維持しましょう。

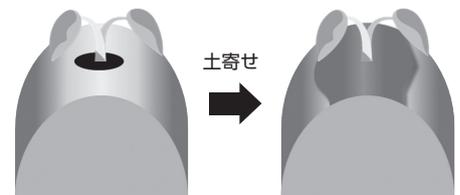


【疫病対策】

疫病は湿気により発生しやすくなると言われていますが、**里芋の生育にも水が非常に大切です**。適度に畝間灌水を行い、里芋を健全に生育させることが疫病対策にもつながります。

子ズイキ刈りの注意点

- ・7月上旬(本葉7枚以降)より、子芋の栄養成長が盛んになり、子ズイキが発生します。放置しておくとしガシラになり品質が低下するため、2~3葉期までに必ず刈り込みを行いましょう。ただし、疫病発生後の子ズイキ刈りは、被害の拡大を助長することになるため控えましょう。また、この頃より親芋の肥大が盛んになり、子芋の形成が始まります。日焼け芋などによる品質低下の防止と収量向上のため、株元を中心にマルチ上に土寄せを行いましょう。



害 虫 防 除

- ・セスジスズメやハスモンヨトウ等の害虫の発生が見られます。害虫の発生を確認した場合には、次ページの表を参考に防除をお願い致します。ただし、大きな害虫には薬剤散布の効果が期待できないため、捕殺することが最も効果的です。

【農薬適用表】～農薬はラベルや最新の登録情報を確認し、適正に使用しましょう～

薬 剤 名	対象害虫	倍 率	使用時期	使用回数	備 考
プレオフロアブル	ハスモンヨトウ	1000～2000倍	7日前まで	2回以内	食毒・残効性
ハクサップ水和剤※		2000倍	3日前まで	5回以内	食毒・残効性 忌避作用
プレバソンフロアブル5		2000倍	収穫前日	3回以内	食毒・残効性

※毒劇物

疫 病 防 除

6月30日時点で、疫病の発生は見られていませんが、7月以降は疫病が発生しやすい気候となるため、予防防除の徹底と発生後の治療剤の散布が必要となります。

<予防>

- ・7月中旬までにダイナモ顆粒水和剤を散布し、それ以降は2週間に1回の頻度でジーファイン水和剤を散布します。なお、8月中旬まではジーファイン水和剤の代わりにペンコゼブ水和剤を散布しても効果があります。
- ・予防防除は、平均気温が22℃より低くなる9月中旬頃まで必要となります。

<発生後>

- ・発病確認後、可能な限り早くアミスター20フロアブル等の治療剤を散布しましょう。その後、1週間あけて2回目を散布します。

薬 剤 名	適用病害	倍 率	使用時期	使用回数	成分数	方 法
ジーファイン水和剤	疫病	1000倍	収穫前日	—	—	150～500L /10a散布
ペンコゼブ水和剤		500倍	7日前まで	2回以内	1	100～300L /10a散布
ランマンフロアブル		2000倍	前日	2回以内	2	
アミスター20フロアブル		2000倍	14日前まで	3回以内	1	
ダイナモ顆粒水和剤		2000倍	21日前まで	3回以内	2	

ナス

誘 引

- ・誘引方法は「縦糸誘引」とし、合掌上段の直管パイプに35～37cmで等間隔にビニール紐(白糸系統が望ましい)を結び下段の直管パイプまで引き結びましょう。このビニール紐に4本の主枝が伸びてきたら随時ビニール紐に結んでいきます。この時「テープナー」を使用すると作業が簡易になります。

追 肥

- ・最初の追肥は収穫開始時からとし、それ以降は生育を見て行いましょう。追肥の間隔は、7月中旬までは10日間隔、7月下旬～8月下旬までは7日間隔で行いましょう。
- ・苦土欠乏になると着花不良になるので15日置きにサンメイトを施用しましょう。

敷 き ワ ラ

- ・梅雨明けの高温期には根が弱るので、マルチの上にワラやカヤなどを敷きましょう。
- ・なお、完熟堆肥をマルチに敷く方法も根を高温から保護する事が出来ます。

水 管 理

- ・土壌水分を一定に保つ事で根の活力が維持されます。
- ・土壌を湿った状態に保つために高温、乾燥期には夕方に灌水し、早朝に落水しましょう。豪雨のときはたまり水のないように排水に努めましょう。

収 穫

- ・収穫は原則として早朝に行い、100～120gを中心に収穫します。
- ・なお、収量の多い夏季は前日の夕方に収穫することがありますが、この場合気温が下がった夕方5時以降とし、果実の軸を長めに残す(出荷調整時に再度適当な長さに切る)と共に果実の上に濡れた布をかけ、屋内の涼しい場所に保管しましょう。



病 害 虫 防 除

薬 剤 名	病虫害名	使用濃度	10a当り使用量	使用時期(収穫)	使用回数
ピラニカEW※	ハダニ	2000倍	150～300 $\frac{\text{㍓}}{\text{㍓}}$	前日まで	1
モレスタン水和剤	チャノホコリダニ	2000倍	100～300 $\frac{\text{㍓}}{\text{㍓}}$	前日まで	3
プレバソンフロアブル5	ハスモンヨトウ	2000倍	100～300 $\frac{\text{㍓}}{\text{㍓}}$	前日まで	2
アルバリン 顆粒水溶剤	アブラムシ アザミウマ	2000倍	100～300 $\frac{\text{㍓}}{\text{㍓}}$	前日まで	2
セイビアーフロアブル20	灰色かび病	1000～1500倍	100～300 $\frac{\text{㍓}}{\text{㍓}}$	前日まで	3
ベルコート水和剤	うどんこ病	3000倍	100～300 $\frac{\text{㍓}}{\text{㍓}}$	前日まで	3

※毒劇物

ネ ギ

排 水 対 策

- ・ゲリラ豪雨などに備え、排水対策を徹底してください。圃場の周りには額縁排水溝を掘り、畝間には排水溝を掘って、降雨による余剰水が畝間に停滞させないようにして下さい。

乾 燥 時 の 灌 水

- ・ネギは比較的乾燥には強いため、極端な乾燥による生育不良の場合を除いて灌水をする必要はありません。
 - ・ただし、極端な乾燥により灌水をする場合には、株元に上から灌水を行って下さい。
- ※畝間灌水は病気の発生・拡大を助長することになるため行わないようにしましょう。

病 害 虫 防 除

- ・ほとんどの圃場でさび病の発生が見られているため、7月中に1度はアミスター20フロアブルなどの治療剤を散布して下さい。
- ・7月以降ハモグリバエ類が急増すると予想されます。1か月おきにダントツ粒剤などの粒剤を散布し、それでも害虫被害が拡大している場合には液剤散布により密度低下を図りましょう。
- ・6月下旬以降、白絹病による被害が増加傾向となっています。連作圃場など、白絹病が発生しやすい圃場では、モンガリット粒剤を散布しましょう。すでに発生している場合には、ロブラール水和剤などの治療剤を灌注して下さい。

薬 剤 名	病 害 名	倍 率	収 穫 前 日 数	使 用 回 数	備 考
		(10a当り使用量)			
アミスター20 フロアブル	さび病、黒斑病 葉枯病、べと病	2000倍	3日前	4回	予防・治療
		100～300ℓ			
オンリーワン フロアブル	さび病、黒斑病	1000倍	14日前	3回	予防・治療
		150～300ℓ			
ラリー水和剤	さび病	2000倍	7日前	3回	予防・治療
		150～300ℓ			
ロブラール水和剤	白絹病	500倍	14日前	3回	株元灌注
		(1ℓ/㎡)			
アフエット フロアブル	白絹病	1000倍	14日前	2回	株元灌注
		(1ℓ/㎡)			
モンガリット粒剤	白絹病	—	14日前	3回	株元散布
		4～6kg			
アルバリン 顆粒水溶剤	アザミウマ類 ハモグリバエ	2000倍	3日前	2回	浸透性
		100～300ℓ			
ハチハチ乳剤※	アザミウマ、さび病 シロイチモジヨトウ、ネギコガ	1000倍	7日前	2回	同時防除
		100～300ℓ			
リーフガード 顆粒水和剤※	ネギハモグリバエ ネギアザミウマ	1500倍	7日前	2回	速効性 浸達性
		100～300ℓ			
ディアナSC	アザミウマ類 ネギハモグリバエ	2500～5000倍	前日	2回	速効性
		100～300ℓ			

※毒劇物

キ ク

ダニ類・アザミウマ類、オオタバコガや黒斑・褐斑病、白さび病、黒さび病の病害虫防除を徹底して8～10月咲きの品質向上を目指しましょう。

8月咲きの管理

- 出蕾期に入り中輪ギクでは摘蕾作業を行います。早めの作業を心がけてください。
- ビビフルフロアブル（ホルモン剤・花首伸張抑制・200～500倍）は最も早い蕾が確認できた時と摘蕾時に1回ずつ散布します。（有色系品種では花色に影響することがあるので使用を控えましょう）

9月咲きの管理 ○病害虫防除の徹底に努めます。

10月咲きの管理

○ピンチ後、20日程度で草丈が5cm以上になります。

1株3本前後ですぐり（間引き）を行います。

○すぐり後は株張りが十分ではないので雨風などで倒れる恐れがあります。

早めにネットを上げてください。



病虫害防除

○ダニ

ハダニ類は25～28℃くらいの温度で乾燥した状態であると、繁殖します。多発すると防除が困難になるので、早期発見に努めて寄生密度の低い間に防除します。ダニは葉裏に寄生します。

また、ダニ剤は浸透移行性のあるものが少ないので、防除は葉裏に薬液が当たるよう、ノズルを下から上に向けてかけむらの無いよう、丁寧に散布します。また、ダニを防除するときは根絶するつもりでダニ剤だけの散布を行ってください。

ダニは抵抗性がつきやすいので、異なる系統の農薬をローテーション散布します。

主な使用農薬 卵：テデオン乳剤

卵～幼虫：ニッソラン水和剤

卵～幼若虫：バロックフロアブル

卵～成虫：マイトコーネフロアブル・ダニカット乳剤20

カネマイトフロアブル（出蕾以降は薬害に注意する）



○白さび病・黒さび病

主な使用農薬 白さび病：ストロビーフロアブル・チルト乳剤25・カナメフロアブル

黒さび病：兼商ステンレス

鳥獣害対策情報

夏野菜のニホンザル対策

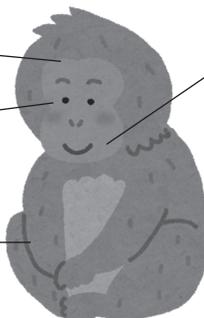
夏はトウモロコシやスイカなどサルの大好物がたくさん実る季節です。サルは「群れ」で来るので、短時間で大きな被害を受けます。丹精込めて作った農作物を、サルに奪われないように対策をしましょう！

【生態】

・学習能力が高い

・視覚、聴覚、嗅覚は人間なみ

・運動能力が高い
・垂直跳びで約1m、幅跳びで約3m
ジャンプする
・10cm以上の隙間があれば侵入できる



・雑食性でなんでも食べる
・スイカやブドウ、トウモロコシなど
甘いものを特に好む

・メスと子どもを中心とした群れで
行動する
・オスは他の群れに移動したり、単
独で行動したりする

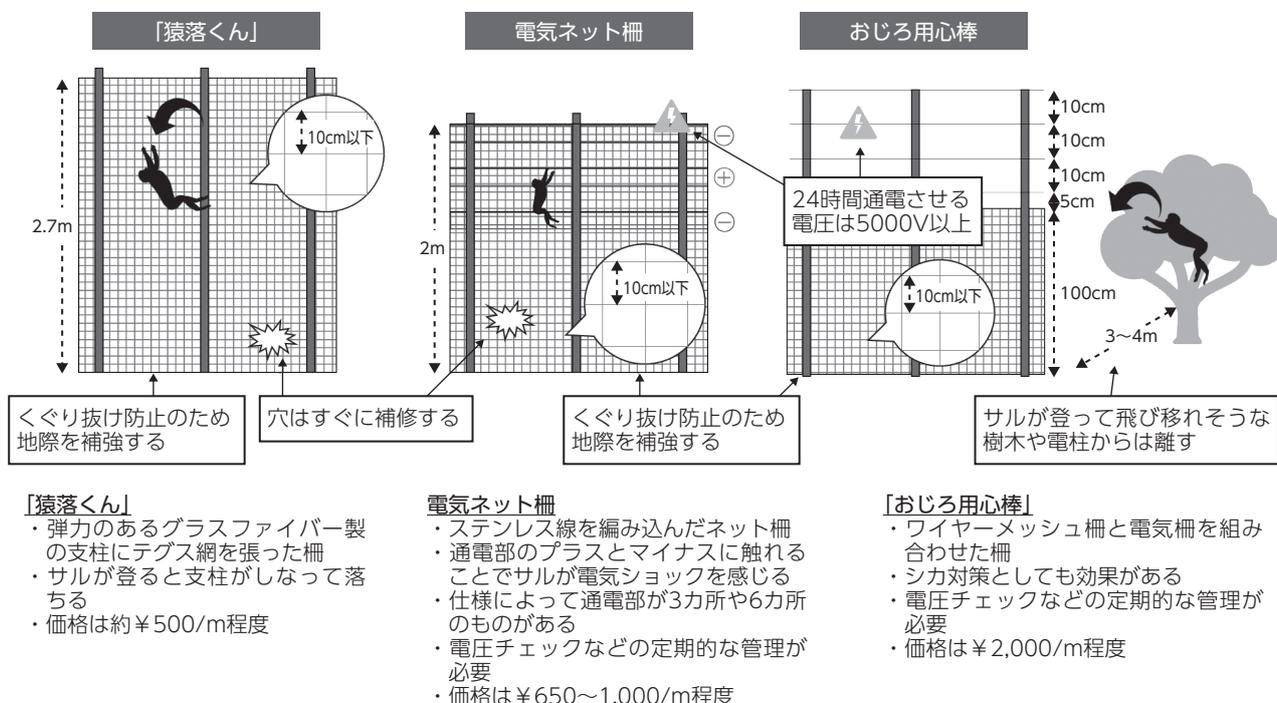
【対策】

1 餌付けしない…収穫しない野菜、農地に捨てられた野菜くずや生ゴミ、お墓のお供え物など、サルのエサになるようなものを集落に放置しないようにしましょう！

2 農地は防護柵で守る…サルに有効な柵には、弾力性のあるグラスファイバーの支柱を使った「猿落くん」、ステンレス線を編み込んだ電気ネット柵、ワイヤーメッシュ柵と電気柵を組み合わせた「おじろ用心棒」があります。

どんな柵であっても少しでも隙間があればサルは侵入しようとするため、柵の補修や補強、電気柵の電圧確認など定期的な管理が重要です。

3 みんなで追い払う…集落内でサルを見かけたら必ず追い払うようにしましょう。1人よりも2人、2人よりも3人で、できるだけ多くの人がサルを追い払うことで「人は怖い」「この集落では食べ物を得られない」ということを学習させましょう。



★サルの目撃情報はみんなで共有

追い払われたサルはエサを求めて近隣の集落に出没する可能性が高いです。サルを目撃した場合は近隣集落と情報を共有し、地域全域が協力して追い払いを行い、サルが人を怖がるように学習させましょう。

★サルの出没情報は「福井県サル出没情報共有システム」まで！

情報登録→システム下部の「出没情報登録」※ユーザー登録が必要です

メルマガ登録→システム上部の「メールマガジン登録」（出没情報が受け取れます）

サル出没情報共有システムは右のQRコードもしくは検索で！

検索

福井県サル出没情報共有システム

